

一緒に楽しく遊んで、子どもたちが成長してくれることが何よりうれしい

27

年前からボーイスカウトの指導者をしてきた関係で、ふおれすと鉾山の開設に向けて市民目線で施設の基本方針を検討する『市民懇話会』に参加しました。その後、

モモンガくらぶの立ち上げ時から現在まで、ふおれすと鉾山で活動を続けています。

敷地内の倒木などを材料に使った工作教室、キャンプの手伝い、ふおれすと鉾山での仕事の体験プログラムなど、ふおれすと鉾山に訪れる子どもたちの自然を体験する活動をお手伝いしています。

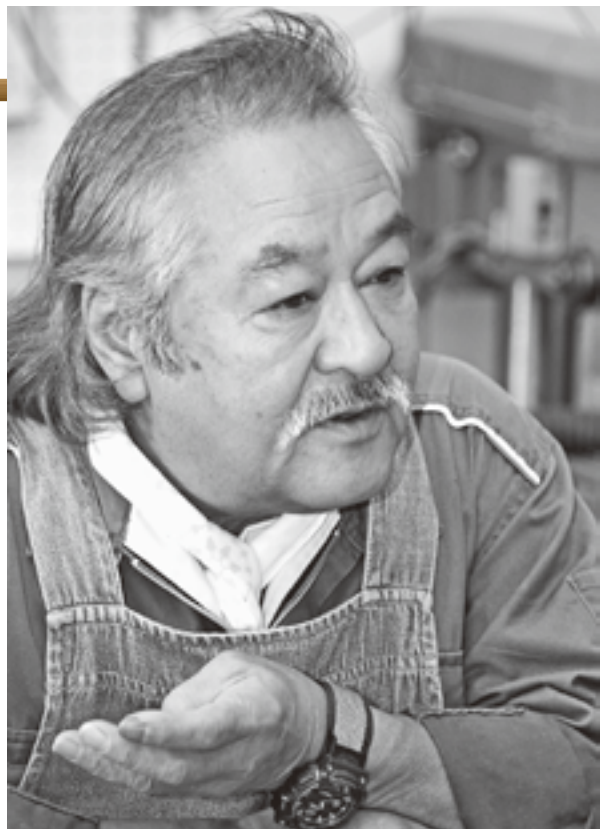
子どもたちに何かを伝えるときに意識しているのは、一から十まで全

てを教えないということです。

例えば、木工教室では、作る作品の見本は見せませんが、作り方を細かく教えません。どのようなことをどういった手順で行えばいいのか子どもたちに考えさせます。ヒントを与えたり考え抜いても分からないことだけ教えたりしています。自分でいろいろと考えることによって、子どもたちに豊かな発想力が養われると思っています。

森を支えるボランティア

なが た おさむ
長田 修さん



新川町在住、69歳。モモンガくらぶのボランティアスタッフにおける中心的な人物の一人であるとともに、理事を務める。口ひげをたくわえた朗らかな顔や温厚な性格から、子どもたちからも人気がある。愛称は『ながちゃん』。



▲長田さんからコツを聞きながら木工に取り組む子どもたち

キャンプの手伝いについても同様です。ボーイスカウトの指導者としては、規律や技能を重視して、テンションの張り方などを細かく指導してききましたが、ふおれすと鉾山では、張り方の例を見せるだけで詳細には教えません。子どもたちには、自分で考えながら自由に活動してもらい、楽しんで帰ってもらいたいと考えています。

私は、自然を楽しみちよつとしたコツを教えているに過ぎません。子どもたちはすぐに吸収し、本当に楽しそうな姿を見せてくれます。そんな子どもたちと一緒に、川に入って動き回ったり、森の中を散策したり、キャンプしたりすることは、私にとっても本当に楽しい時間です。そし



▲草笛など、自然の楽しみ方を子どもたちに教える長田さん

て、コツを学んだ子どもたちから「ながちゃん、ありがとう」とお礼の言葉をもらったたり手紙が届いたりするのは、とてもうれしいことですね。

ふおれすと鉾山での活動は、ボランティアをしているという感覚はあまりありません。私自身、自然の中で遊ぶことや子どもたちのことが大好きで、子どもたちに何かを教えているというよりは、一緒に遊んでいると思っています。

これからも、ふおれすと鉾山に訪れる子どもたちと共に、遊び続けていきたいですね。そして、私との遊びの中で、子どもたちに、自分で考える力を育んでいってもらいたいと思っています。